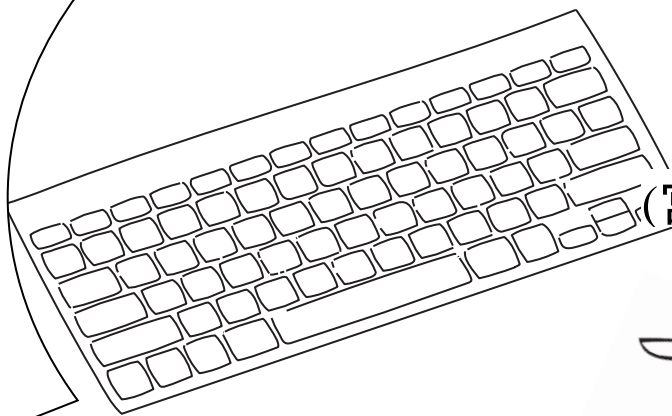


「つながる」を支えたい。

# パソコンボランティア 養成講座

(宮城県地域生活支援事業)



～主に、重度肢体不自由、視覚障がいがある方への、パソコン操作・学習支援～

障がい者福祉に理解と熱意があり、文章作成、Web検索、メール等日常的にパソコンを利活用するなど情報通信技術について一定の知識・技能がある方(18歳以上)が受講対象者です。

神経難病等による肢体不自由児・者、視覚障がい者等の障がいがある方々のパソコン機器等の使用に関する支援に必要な技術、知識、価値を学ぶ4日間の講座(他に、必要に応じて実地研修)を行うことにより、パソコンボランティアを養成します。



申込み受付、お問い合わせは下記まで  
受付開始 令和2年11月1日



社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会  
肢体不自由児協会事業

Tel 022-293-2902 Fax 022-291-1588

E-mail : [kibounoko@shinsho-miyagi.or.jp](mailto:kibounoko@shinsho-miyagi.or.jp)

ホームページ <http://kibounoko-miyagi.com/>

※不在時は留守電対応となります。

この養成講座では、上肢障がいあるいは視覚障がいがあり書字が困難な方、言語障がいがあり言葉が話すことが困難な方にとっては、パソコン等ICT(情報通信機器)関連機器等は、「人と人」、「人と社会」をつなぐ可能性がある大切な手立て(コミュニケーションツール)の一つであると考えて、これら機器の利活用を必要とする障がいがある人の支援者を養成します。

期 間：令和2年11月21・29日、12月6・13日(計4日間)

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては延期させていただきます。

時間帯：9時30分から16時00分 (予定11講義)

会 場：宮城県障害者福祉センター(仙台市宮城野区幸町4-6-2)

内 容：人権尊重・権利擁護など障がい者支援に関わる価値観の育成並びに以下の内容について座学あるいは演習形式で学びます。

- ・社会福祉及び障がい者福祉の基礎知識(\*大学等で履修済みの方は免除)
- ・パソコンボランティアの活動の実際
- ・障がい者の情報入手と活用、コミュニケーション支援について
- ・障がい者支援ソフト(肢体不自由者用。音声入力ソフト等視覚障がい者用)
- ・意思伝達装置、携帯用会話補助装置等関連機器の理解と演習
- ・自己覚知とコミュニケーション演習

受講対象者：パソコン通信、Web、ワープロソフト等を日常的に利活用するなど情報通信技術に一定の知識・技術を有する方(18歳以上)。

受講日2週間以内に他県等コロナ感染流行地域(随時提示)への往来がない方。

定員数：5名(先着順。但し、上記受講対象条件を満たす方)

その他：受講日当日は、検温、マスク使用、手洗い履行等の受講条件に従っていただきます。

※講師所属団体：みやぎ障害者ITサポートセンター、せんだいアビリティネットワーク

仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター、相談支援事業所ばるけあであらんで、楽暮プロジェクト、宮城県障がい者福祉協会

※ 8割以上の受講と確認テストを修了された方には、宮城県知事の修了証が交付されます。

※参考 令和2年度パソコンボランティア活動概要

みやぎ障害者ITサポートセンター派遣報告

- 60代女性・筋ジストロフィ・仙台市 5回
- 40代男性・ALS・涌谷(一関市) 1回
- 60代男性・ALS・亘理町 2回
- 60代男性・ALS・富谷市 2回
- 70代男性・ALS・登米市(山形市) 2回
- 50代女性・脳性マヒ・仙台市(亘理町) 19回
- 20代女性・脳原性機能障害・登米市 1回
- 60代女性・脳性小児まひ・仙台市 1回
- 60代男性・脊椎損傷・仙台市 6回
- 50代女性・視覚障害・仙台市 1回
- 60代女性3名・視覚障害・仙台市 3回
- 60代女性・視覚障害・多賀城市 1回
- 60代男性2名・視覚障害・仙台市 4回
- 70代女性・視覚障害・富谷市 1回
- 70代男性2名・視覚障害・仙台市 4回
- 80代男性2名・視覚障害・仙台市 5回

主たる活動内容：

- ・意思伝達装置の操作学習支援
- ・インターネットの利活用支援
- ・文章作成、年賀状作成支援
- ・パソコントラブル解決支援
- ・iPhone操作全般 その他

